

## 島根県で初確認されたオオウバユリについて

河合 駿介\*・長尾 知輝\*・井上 雅仁\*\*

### First Record of *Cardiocrinum cordatum* Makino var. *glehnii* from Shimane Prefecture

Shunsuke Kawai\*, Tomoki Nagao\*, Masahito Inoue\*\*

#### 1. はじめに

オオウバユリ *Cardiocrinum cordatum* (Thunb.) Makino var. *glehnii* (F.Schmidt) H.Hara はユリ科ウバユリ属に属するウバユリ *Cardiocrinum cordatum* (Thunb.) Makino の変種とされ、ウバユリよりも大型、花は長さ10～15cmで10～20個、南千島・北海道・本州(北部～中部)、サハリンに分布するとされる(大橋ほか, 2015)。筆者らは2024年から2025年にかけて、島根県飯石郡飯南町においてオオウバユリの生育を確認することができたのでここに報告する。

#### 2. 島根県におけるオオウバユリの記録

島根県では、杵村(2005, 2006)と島根県大百科事典編集委員会(1982a, 1982b)に記録がない。サイエンスミュージアムネットを検索したところ、島根県内において採集された本種の標本は抽出されなかった(国立科学博物館, 2018)。

#### 3. 中国地方におけるオオウバユリの記録

一般に本州中部以北に分布するとされるが(大橋ほか, 2015)、岡山県北部の山地において記録されており、準絶滅危惧に指定されている(岡山県野生動植物調査検討会, 2020)。広島県では、広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(1997)、

世羅ほか(2010)に記録がない。山口県では、岡ほか(1972)、山口県希少野生動植物保護対策検討委員会(2019)に記録はなく、鳥取県においても、鳥取県自然環境調査研究会(2002)に記録がない。

#### 4. 現地での確認状況

2024年4月18日に島根県飯石郡飯南町の大万木山の中腹、標高約850mの地点において、2個体の前年の茎と蒴果の標本を得た(図1)。確認された2個体のうち1個体は花序の途中で折損しており、地際からの



図1 2024年の採取標本

\* 島根大学大学院自然科学研究科, 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

Graduate School of Natural Science and Technology, Shimane University, 1060 Nishikawatsu-cho, Matsue, Shimane 690-8504, Japan

\*\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane 694-0003, Japan



図2 現地での生育状況(2025年8月)

茎の長さはそれぞれ185cm, 235cm(先端が折損)であった。確認できた蒴果の数は185cmの個体が13個, 235cmの個体が10個であった。

2025年8月にも現地を訪れ、分布調査と観察を行った。大万木山周辺の林道を中心に調査を行ったところ、計11個体の生育を確認した(図2)。確認できた個体の高さは140~185cm, 蒴果は10~16個であった。生育を確認した林道は標高900~1000mであり、2024年に生育を確認した地点と同じ林道沿いであったことから、今回生育が確認された周辺域において一定数の個体が生育していると思われる。

## 5. ま と め

本種はこれまで中国地方では岡山県北部に分布することが知られていたが、その分布につながる形で島根

県の中国山地沿いにおいても生育を確認することができた。今後も中国山地周辺部においても確認される可能性がある。ただし、今回生育を確認したのはすべて同じ林道の路肩であったため、林道造成に伴う侵入の可能性を排除できない。今後の報告を期待したい。

## 引用文献

- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (1997) 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島.
- 国立科学博物館 (2018) サイエンスミュージアムネット. <http://science-net.kahaku.go.jp/>. 2025年11月28日確認.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司 (2015) 改訂 新版日本の野生植物1 ソテツ科~カヤツリグサ科. 391pp. 平凡社, 東京.
- 岡 国夫ほか (1972) 山口県植物誌. 607pp. 山口県植物誌刊行会. 山口.
- 岡山県野生動植物調査検討会 (2020) 岡山県版レッドデータブック 2020. 812pp. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山.
- 世羅徹哉・坪田博美・松井健一・浜田展也・吉野由紀夫 (2010) 広島県植物誌補遺. 広島市植物公園紀要, 28, 1-74.
- 島根県大百科事典編集委員会 (1982a) 島根県大百科事典上巻. 1088pp. 索引71pp. 山陰中央新報, 島根.
- 島根県大百科事典編集委員会 (1982b) 島根県大百科事典下巻. 1024pp. 索引66pp. 山陰中央新報, 島根.
- 杵村喜則 (2005) 島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告, 3, 1-49.
- 杵村喜則 (2006) 島根県の種子植物相(補遺). 島根県立三瓶自然館研究報告, 4, 41-43.
- 鳥取県自然環境調査研究会 (2002) レッドデータブックとっとり. 203pp. 鳥取県生活環境政策課, 鳥取.
- 山口県希少野生動植物保護対策検討委員会 (2019) レッドデータブックやまぐち 2019. 986pp. 山口県, 山口.